

# 文化祭もキャッシュレス

## 青森南高 模擬店で仕組み学ぶ

普及が進むキャッシュレス決済に高校生に親しんでもらおうと、青森市の青森南高で、文化祭の模擬店の支払いを通して電子決済の流れを学ぶ取り組みがあった。

2022年に高校必修化された金融教育の一環で、KDDIとNTTドコモが協力。生徒はスマートフォンで店先に用意されたQRコードを読み込み、軽食や飲料などの買い物を楽しんだ。売上金は学校指定の口座に振り込まれた。

生徒会による事前アンケートで、キャッシュレスを日常的に使っているのは全

校生徒の3割。「キャッシュレス委員長」を務める2年高村幹人さん(16)は「決済の選択肢が増え、早くて

便利だが、店にとっては手数料がかかることを知り、新たな学びにもなった」と話した。

久保田千夏校長は「より実践的に、時代に即した挑戦をしてほしい」と述べた。KDDI東北総支社の石岡諭管理部長は「キャッシュレス化は地域格差もあり、学校行事を通して学ぶ機会のお手伝いをしたい」と呼びかける。

模擬店での体験は7月18日。同社は23年度から全国で同様の活動を展開しており、東北では24年に仙台商高(仙台市)と八戸学院大(青森県八戸市)で実施した。



模擬店でキャッシュレス決済を体験する生徒ら

河北新報 2025年(令和7年)8月7日(木)掲載。この画像は当該ページに限って河北新報社が利用を許諾したものです。 許諾番号「7-70」